

今日も「ー」あがり



第52話

熱き男たちの奇跡の修理物語！ の巻

皆さん、こんにちは！ 紅白歌合戦に出演したY O A S O B Iのボーカル幾田りらちゃんに恋をしてしまいましたロボストス高垣でございます。いまやYouTubeから次世代のスターが出てくる時代。りらちゃんは人気曲をカバーするボーカルユニット「ぶらそにか」のメンバーで、僕もYouTubeで見たことがあったんですけど、その時はりらちゃん存在に注目できませんでした。自分の目は完全に節穴でしたが、見過ごさず彼女のスター性を見出した人たちがいたわけです。まだ世に出ていない逸材を探すのもYouTubeの楽しみ方の一つと言えそうですね。と



写真1：バケットが上がらなくなったホイールローダTCM815。がっつりフレームが変形しているので、修復はかなり難しい



写真2：運転中に奇跡的に僕の目にな飛び込んできたTCM815



写真3：「まず車輛を点検しよう！」と休日返上で現場訪問してくれた中野社長と吉田整備士と笑顔の上野さん。放牧酪農の牛乳の美味しさに感動していた



写真4：完全復活したTCM815の前でポーズを取る上野さん親子。やっぱりものづくりは熱くやらなきゃ！

いうことで、今月は「宝探し」をテーマにお届けしましょう！

想いが呼び寄せた奇跡

関東平野で数少ない放牧酪農経営をされている超こだわり農家・茨城県稲敷市の上野裕さんから「ホイールローダTCM815を直してもられないか。メーカーにもサジを投げられて途方に暮れている」とFacebookでメッセージが届きました。現場に向かうと、バケットシリンダーがフロントフレームにめり込んでいました。操作ミスをして悔しそうな息子さんの前で「ロボストスが無理と判断すれば廃車にするつも

り。最後に相談したかった」と言われたら、諦められるわけがない！

現物合わせでなんとかするのでも大変だし、フレームごと交換するのがベストだけど古い型式で中古を探すこと自体も難しいし……と頭を悩ませながら二週間ほど経った頃、本当に偶然、運転中に僕はTCM815を見つけたんです。業者に尋ねると「ロボストスさん!! 農家のお客様から噂を聞いていて、いつか一緒に仕事したいと思ってたんです! 部品取り用の車輛ですが、高垣さんならお譲りします」とこんなこと起きる? という奇跡的な展開!!(笑)話を聞けば、所有者の中野商事さ



高垣達郎 (たかがき・たつろう) 1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に㈱ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。㈱ロボストス代表取締役社長。

んは群馬県の大手畜産農家から厚く信頼されている重機整備業者でした。あとはフロントフレームをバラして交換できれば直るのですが、茨城のメーカーの見積りは高額すぎて、結局中野商事さんが良心価格で作業することに。最後に、誰が6t超えの壊れたTCM815を群馬まで運ぶのかですが、上野さんにトウモロコシを供給している千葉県の小泉輝夫さんが仲間を声をかけてくださって、友達価格で配送完了!

宝探し担当の僕は今回1円も受け取りませんでした。休日返上で動いてくれた中野商事の中野社長と吉田整備士の胸が熱くなる仕事に立ち会えたことはプライスレスの報酬でした。金・金・金の技術なき心なき風潮のなか、上野さん親子も僕も涙を浮かべて感動して、廃車寸前だったTCM815は完全復活したのでした。ということ。来月も熱きものづくり魂たぎらせていこうぜ!! 今月も一丁あがり~~~~♪